



企画展

秋田県博の



自然史標本



2019.4.27 - 6.23

休館日：月曜日（祝休日と重なった場合は次の平日）
（4月27日～5月6日は開館，5月7日は休館）
開館時間：9:30～16:30

観覧無料



秋田県立博物館

Tel.018-873-4121
ホームページは
「秋田県立博物館」で検索



このイベントは
宝くじの収益金
の一部で実施さ
れています。
秋田県

「自然史」とは、広く言えば、自然について書き記すこと、あるいは書き記されたもの。博物館の標本は、自然を記録するための確かで大切な手段であり証拠です。そのために、特徴や性質を調べられる状態に維持されていること、いつどこで採集されたかなどの情報が付けられていることが求められます。研究に利用され、さまざまな情報が付け加わっていくことで、標本の価値はより高まります。

標本のさまざまな形

どのような標本にするかは目的によってさまざまですが、分野ごとに伝統的なスタイルがあります。地質・生物のさまざまな標本を一堂に並べてみました。



標本を作る

標本作りは採集の段階からすでに始まっています。採集や標本作りの道具のあれこれを紹介します。



個人コレクションの継承

博物館には、価値ある個人コレクションを引き継ぐ役割が期待される場所ですが、全てを受け入れるのが困難であることも現実です。博物館に寄贈された貝類や蛾類などのコレクションの一部を展示します。

完全網羅の夢

秋田県博の標本のコレクションは、地域の自然を網羅的に参照できる体系でありたいのですが、果たせぬ夢かもしれません。今回は、収蔵資料の中から4,000種あまりの昆虫標本などを展示します。



標本から読み取る

標本からはさまざまな情報が読み取れます。調べ直した結果、新種が見つかることもあります。分析技術の発達により、より多くの情報が取り出せるようになることが期待されます。



〔交通案内〕

- 鉄道 JR奥羽本線・男鹿線
追分駅下車 徒歩20分
- バス 秋田中央交通バス五城目線
金足農業高校入口下車 徒歩15分
- 自動車 秋田自動車道昭和男鹿ICから10分

秋田県立博物館

〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山52
TEL. 018-873-4121
ホームページは「秋田県立博物館」で検索

